



さとう なゆた 議員(山越小学校6年)

雪かき(除雪)が難しい人たちを助ける制度がほしい

八雲町は積雪が多く、雪かきは高齢者や体の不自由な方々にとっても大変負担になっていると感じます。雪かきを自力でできない人たちが、アプリを活用して助けを求め、ボランティアの方々等に手伝ってもらえるような仕組みは作れないでしょうか。人材バンクの活用も可能ではないかと思えます。

答弁)町長

アプリの活用については、町独自のアプリというのは少し難しいのかなと思いますが、道内企業が開発した除雪マッチングアプリで、除雪の依頼者と作業者を結びつけるサービスが報道で紹介されていましたので、今後、対象地域が本町にも広がるのであれば、高齢者等を支援する一つの方法にはなるのではと感じております。

町が行っている除雪の支援策としては、高齢者や障がいのある方のうち、除雪ができず、家族や隣人等の協力者の確保ができない場合に、町が依頼した事業者が除雪を行い、その費用の一部を助成しております。この制度をより充実させるために、人材バンクのように、除雪を支援できる方に登録してもらう方法なども考えられますので、より良い方法がないか、研究してみたいと考えております。



よしだ なゆ 議員(八雲小学校6年)

観光客を増やすために

八雲町に観光客を増やすために、八雲町が誕生したことを祝う「記念日」や星を見る「星の観覧日」というイベントなど町のイベントを増やすこと、また新幹線の駅の近くに子どもが気軽に遊べる場所や若者が集まるような映えスポットを作ることを提案します。

答弁)町長

「食べ物」「観光」「体験」を組み合わせたイベントが現在注目されていますが、ご提案のあった八雲町が誕生したことを祝うイベントや「星の観覧日」についても非常に魅力があると思います。町内外の皆様注目されるような新しいイベントについて、議員のご提案を参考にさせていただきたいと思えます。

新八雲駅およびその周りの施設整備にあたりましては、お客様・観光客の皆様へ「他の新幹線の駅にはない、八雲らしさ」を感じていただけるよう「牧場の中にある駅」として考えております。駅の正面には“牛の放牧が見える”「観光牧場」、まわりには「レストラン」などを考えておりますが、今後、議員ご提案の「子供が気軽に遊べる」「若者が集まるような“映えスポット”」についても考えていきたいと思えます。



きたむら ののか 議員(浜松小学校6年)

八雲の人口を増やす取り組みについて

八雲の人口を増やすために、①「手軽に食べられるご当地グルメ」を作ること、②特に子供のいる家族に、便利で自然がある八雲の良さをアピールすること、③空き家をきれいにして、八雲に住んでみたいと思う人を増やす取組を行ってみませんか。

答弁)町長

①この町でしか味わえない、安くて手軽に食べられる物があれば、大変、魅力的であり、このことが話題になることによって、多くの方に八雲町にきていただけたと思われれます。

牛乳、軟白ネギ、ホタテ、二海サーモンなど様々な食材があり、八雲町は食べ物の宝庫であると思っておりますので、議員ご提案のとおり、ご当地グルメの開発は十分に可能性があると考えます。SNSなどで発信することにより、多くの方に八雲町のことを知っていただくきっかけにもなりますので、八雲町の良さをアピールできるように、取り組んでまいりたいと思えます。

②八雲町には、八雲総合病院やパノラマパークなど、生活に必要な環境が整っていることと思えます。また、幼稚園や保育所入園前の子どもの一時的預かり事業や、子育てサロン等の事業を行っている子育て支援センターを始め、保育所、小・中学校、高校と、子育て環境は、とても充実していることと思えます。ホームページやLINEなどを活用し、町外の方へも八雲の良さをアピールできるよう、取り組んでまいりたいと思えます。

③八雲町では危険な空家の解消やその様な空家を増やさないために、空家の解体・撤去に一部補助金を出したり、改修費用に対しても一部補助金を出して空家の解消や活用を支援しております。

このような支援については、議員ご提案の「空家をきれいにする」といった考え方に合致するものと考えておりますので、本制度の継続とPRに努めてまいりたいと考えております。